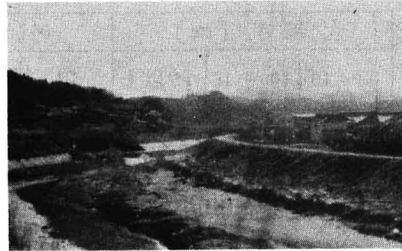


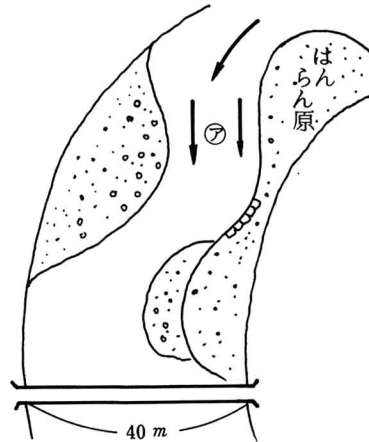
(2) 土手の上から川原の様子や水の流れを観察する。

- ① 土手の上から川原や水の流れなど川の全景をスケッチする。
- ② 水の流れが曲がっている付近で川原は、内側にできているか、外側にできているか。



(3) 川原において、流水のはたらきを調べる。

- ① ⑦の近くで、川原の近くと対岸の近くでそれぞれ10 m長さを取り、水の流れの速さを調べる。
- ② 流れの曲がっている内側の川原から対岸に進むにつれ、川の深さは、どう変わっているか。
- ③ 水中のぞき箱で川底をのぞき、砂が流れている様子を観察する。



(4) 川原のレキを調べる。

川原でレキや砂のつもり方や集まり方が、平均的である場所を選ぶ。選んだ場所を1 mの方形枠で囲い、その内に入っている長径5 cm以上のレキのすべてを、ビニルシートにとり出す(表面に見えているレキのみ)。

① レキの大きさで分ける。

大きさによって5~10 cm, 10~15 cm, 15 cm以上の3つに分け、その数を調べる。

② レキの形で分ける。

レキの形で、まるい石、ややまるい石、角ばった石の3つに分け、その数を調べる。

③ 川原のレキの大部分は緑色をした緑色片岩類で、たまに白っぽい花崗岩のレキが見られる。

(5) 調べた結果を表にまとめる。